

音楽科 授業改善推進プラン

1 観点ごとの児童の実態

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識及び技能	○器楽では、鍵盤ハーモニカを正しい運指で演奏したり、拍を数えて打楽器を打ったりすることができます。	○器楽では、音色に気を付けながら、リズム楽器を友達と合わせて演奏することができます。	○リコーダーの運指の理解は、個人差があります。音色を意識して演奏できる児童もいます。	○リコーダーの運指の理解は、個人差があります。 ○音色を意識して豊かに演奏できる児童もいます。	○器楽では、リコーダーの基本的な奏法は、身に付けています。 ○歌唱では、高音の音量が落ちてしまいます。	○器楽では、リコーダーの基本的な奏法は、身に付けています。 ○歌唱では、発声や響きを意識する児童が多いです。
思考力, 判断力, 表現力	○元気な声で歌えますが、音程がとれなかったり、強弱に気を付けて歌ったりすることが苦手の児童もいます。 ○鑑賞では、リズムに合わせて体を動かし、曲を聴くことのできる児童が多いです。	○歌唱では、無理のない発声で歌うことができ、音程の高低や拍子感覚をつかむことができます。 ○鑑賞では、曲を聴き、リズムに合わせて体を動かし、自分の思いを活発に発言する児童が多いです。	○リコーダーの音色を意識したり、タンギングの仕方を工夫したりできるよう継続的に学習する必要があります。 ○鑑賞では、音色や曲想を味わいながら聴くことができます。	○リコーダーの音色を意識したり、レガートの表現を工夫したりすることができます。 ○鑑賞では、楽器の音色を意識したり、友達の意見を参考にしたりしながら、考えを深めることができます。	○歌唱では、高音での響きのある発声を意識して歌うことができます。 ○合奏では、楽曲の構成や変化に気を付けて演奏しています。積極的に自分の表現を発信する児童が多いです。	○既習の学びを生かして主体的に学習を進めることができます。 ○合奏では、楽曲の構成や変化に気を付けて演奏でき、主体的に活動する児童が多いです。
学びに向かう力, 人間性	○友だちと協働して歌ったり手拍子を打ったりする活動に進んで取り組んでいます。	○友だちと協働して歌ったり手拍子を打ったりする活動に、進んで取り組むことができます。	○いろいろな楽器に興味をもち、前向きに取り組むことができます。 ○階名で楽譜を読める児童が増えてきました。	○熱心に取り組み、楽しむことができます。 ○豊かに表現でき、発展的な内容につなげて活動することができます。	○歌唱では、音色に気を付けて歌おうとする児童が増えました。 ○合奏をする雰囲気を楽しみ、前向きに取り組むことができます。	○協働して取り組む楽しさを感じて、より良い表現にするために粘り強く取り組むことができます。

2 課題と改善策、検証方法

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
課題	○元気に大きな声で歌えますが、音程がとれなかったり、拍の流れに気を付けて歌ったりすることが苦手の児童もいます。	○音楽の曲想を捉えることが課題です。	○階名を読むことが今後も定着できるよう継続的に学習する必要があります。	○音楽的根拠をもって自分の考えを深めていくことが課題です。	○歌唱では、高音域で音量を上げることが課題です。 ○音楽的根拠をもって自分の考えを深めていくことが課題です。	○歌唱では、高音域で音量を上げることが課題です。 ○音楽的根拠をもって自分の考えを深めていくことが課題です。
改善策	○いろいろな楽曲を歌ったり、階名唱したりしながら正しい音程をつかめるようにします。 ○常時活動に「リズム遊び」を取り入れていきます。	○鑑賞のワークシートやタブレット端末を活用して曲想を表す語彙を増やします。	○年間を通して、階名唱やリズム唱などを取り入れ、音符カードや音階の表と結び付けて指導します。	○鑑賞のワークシートやタブレット端末を活用して音楽的要素を理解できるよう指導します。	○合唱活動の導入部分に発声練習を取り入れます。 ○鑑賞のワークシートやタブレット端末を活用し繰り返し学習します。	○段階ごとに指導の重点を明確にして学習内容を分かりやすく提示します。 ○鑑賞のワークシートやタブレット端末を活用し繰り返し学習します。
検証方法	○歌を歌う活動では、手拍子や足踏みをしたり、音程が取れているか確認したりします。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。 ○鑑賞のワークシートやタブレット端末で確認をして、検証します。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。 ○鑑賞のワークシートやタブレット端末で確認をして、検証します。

